

小規模多機能型居宅介護

ナイスデイ二階町

利用のご案内

一般財団法人 津山慈風会

1. 基本理念

<津山慈風会理念>

私たち津山慈風会は、地域の皆さんにやさしく寄り添います

<行動規制>

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者様満足 利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します。
2. 地域満足 それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します。
3. 職員満足 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません。

2. 「ナイスデイ二階町」の概要

運営主体	一般財団法人 津山慈風会 岡山県津山市川崎 1756
施設名	小規模多機能型居宅介護 『ナイスデイ二階町』
介護保険の指定	小規模多機能型居宅介護事業所
利用方式	月払い方式
利用条件	要支援、要介護
介護の職員体制	利用者3人に介護者1名以上
設置場所（住所）	津山市二階町 23番地3
開設年月日	平成21年5月1日
敷地面積	985.43㎡
延床面積	420㎡、建物全体 2,581㎡
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造7階建、1～2階
登録定員	25人、（通いサービス定員 15人、宿泊サービス定員 9人）
宿泊室面積	10.4㎡
宿泊室・設備	宿泊室、食堂兼機能訓練室、相談室、一般浴室、特浴室、個浴室、医務室兼静養室、車椅子用トイレ等
居室内設備	介護用ベッド、洗面化粧台、収納、エアコン、カーテン、ナースコール、照明器具

3. ご利用条件

原則として、以下の条件を全て満たしていることとします。

- (1) 要支援、要介護認定を受けていること。
 - (2) 健康保険に加入されていること。
 - (3) 行動が他の利用者の生活・健康に重大な影響を及ぼさないこと。
 - (4) 他者に感染する恐れのある感染症に感染していないこと。
 - (5) 身元引受人（保証人）1名が必要です。
 - (6) 当施設の運営規程、締結する諸契約に同意いただける方。
- (注) 病気療養の内容によっては、お断りさせていただく場合もあります。

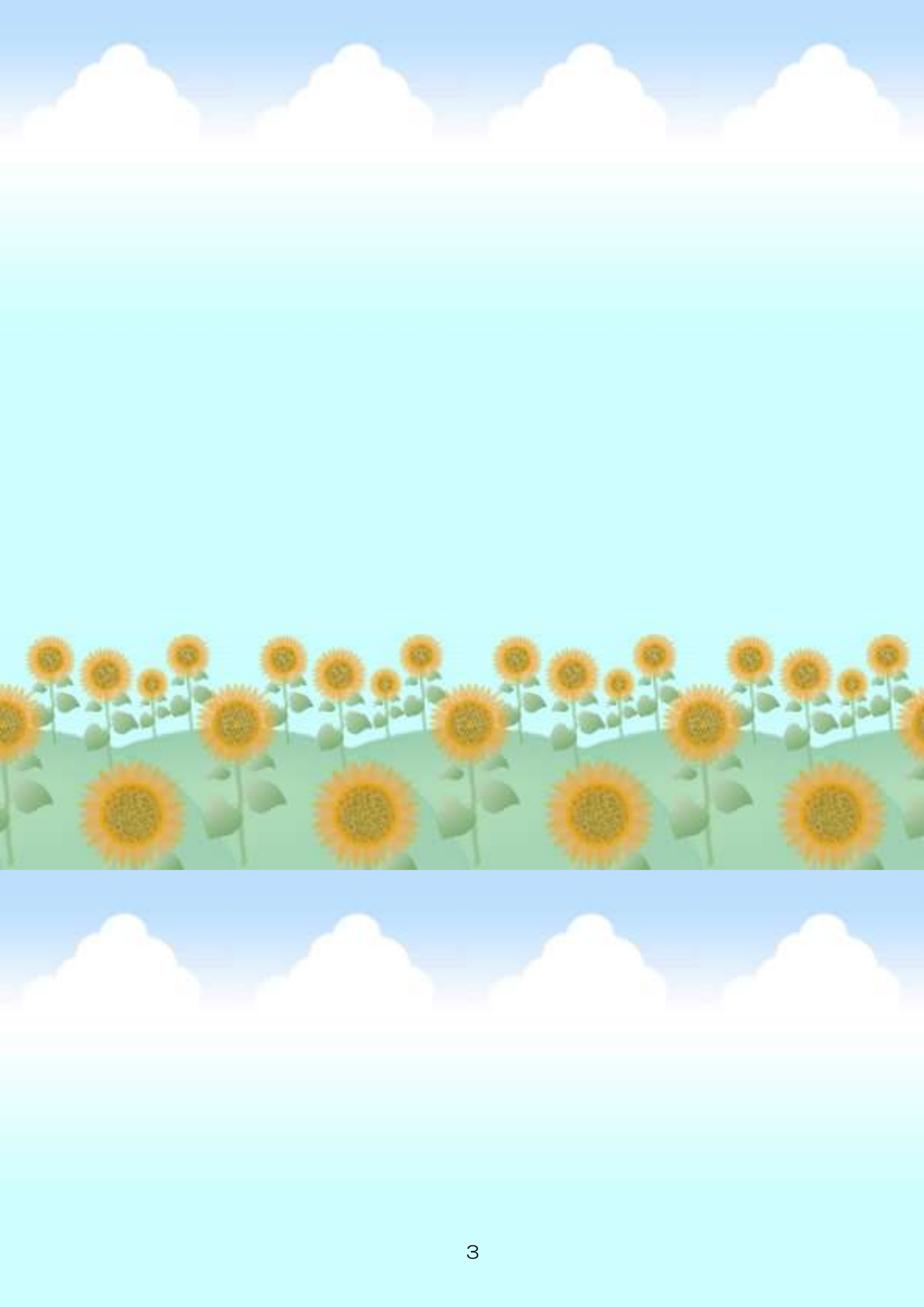
4. サービスの内容（一部有料サービスがあります）

- (1) 通いサービス 食事、入浴、機能訓練、レクリエーション、健康チェック、送迎等の援助を行います。
- (2) 訪問サービス ご自宅に伺い、必要に応じた日常生活上の世話や機能訓練を提供します。
- (3) 宿泊サービス 当施設に宿泊していただき、日常生活上の世話を提供します。
- (4) 利用者や家族の個人情報保護します。

5. 医療への協力

当事業所では、各ご利用者の主治医との連携を基本としつつ、健康相談を行うとともに、入居者の健康診断病状の急変等に備えて次ぎの医療機関等を協力施設として連携体制を整備しています。

またの内科循環器科 クリニック	所在地：津山市新職人町18 TEL：0868-22-4758
津山中央クリニック	所在地：津山市二階町65 TEL：0868-22-6113
津山中央記念病院	所在地：津山市二階町71 TEL：0868-22-6111
津山中央病院	所在地：津山市川崎1756 TEL：0868-21-8111
津山中央健康管理センター	所在地：津山市川崎1756 TEL：0868-21-8111



6. 利用料について

利用料は、1か月単位の定額制です。サービス費用の1割を負担することになります。

1か月あたりの費用の目安

	要介護度	介護保険費用 (単位数×10円)	自己負担 (左記の一割)
介護予防サービス	要支援1	44,980円	4,498円
	要支援2	80,470円	8,047円
介護サービス	要介護1	111,050円	11,505円
	要介護2	164,320円	16,432円
	要介護3	234,390円	23,439円
	要介護4	257,650円	25,756円
	要介護5	283,050円	28,305円

※1単位=10円で計算



各種加算

「初期加算／1日あたり」、「認知症加算／1か月あたり」
 「サービス提供体制加算／1か月あたり」、
 「介護職員処遇改善加算／1か月あたり」



食費



朝食:410円 昼食:620円
 夕食:720円 おやつ:100円

宿泊費



宿泊:3,240円

日常生活費



その他実費
 おむつ1枚 108円など

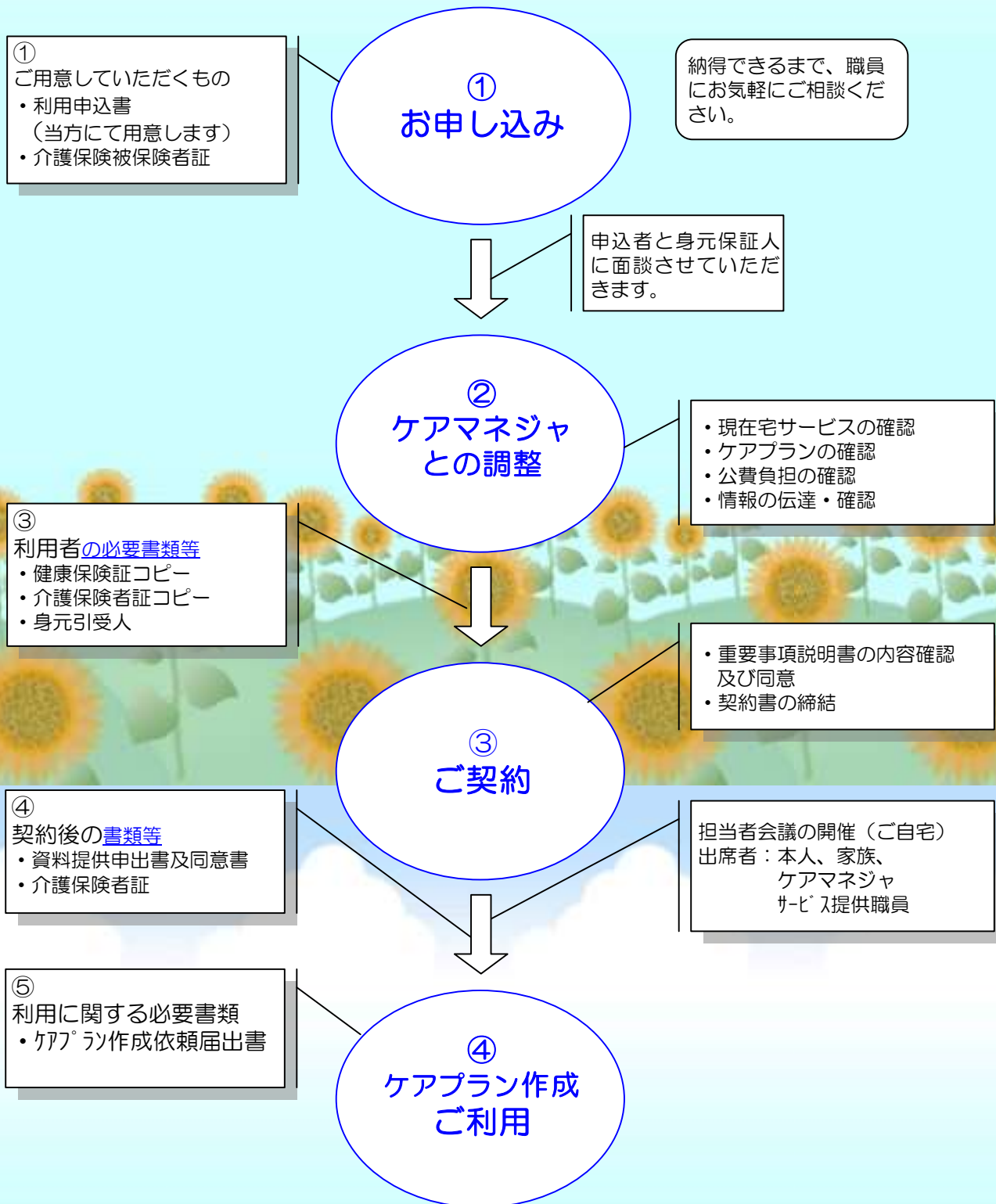
各種加算(自己負担額)

初期加算：30円/日（30日間のみ）、認知症加算：500円～800円/月

サービス提供体制加算：500円/月、介護職員処遇改善加算：総単位数×4.2%/月

7. ご利用までの手続きの流れ

ご利用までの手続きの流れ



9. 施設案内

エントランス



食堂兼機能訓練室



食堂兼機能訓練室



食堂兼機能訓練室



機能訓練室（畳コーナー）



宿泊室



これからも安心して家で暮らしたい

野菜づくりは難にも負けない。

温泉大好き！

まだまだ子どもたちのことが心配

私がいなきゃ。
まだまだ死ぬない

でも…このままではもう家では暮らせない…

出かけたいたい…でも…

ひとりでお風呂に入るのが怖い

死にたい…

介護が必要になったら家族に迷惑かける…

ひとりぼっち

ばかにしないで…私は子どもじゃない。

一緒に暮らしたい

優しい母といつまでも一緒にいたい。

見守りがあるから安心

いつでも相談できる場所がある。

おばあちゃんに「ありがとう」って言われると嬉しい。

認知症にならなかつたらこんな親孝行できなかった。

でも…もう限界…

いつまでこんな生活が続くんだったらもうこれ以上できない…

私の気持ちをわかってくれる人がいない…

おばあちゃんをせいで私の生活はもうぐちゃぐちゃ…

親が読めない

気づいたらうんこ、おしっこまみれ

何を言えば、わかってもらえるかわからない

あきらめないで！

1 「思い」や「願い」を大切にします
～可能な限り在宅で暮らすことを支えます～

2 自宅に24時間・365日の安心を届けます

3 介護の「困った!」にお応えします
～「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に支える～

4 地域の人みんなで考えます

小規模多機能型居宅介護 **4つの特長**

その1 「思い」や「願い」を大切にします
～可能な限り在宅で暮らすことを支えます～

誰もが年をとっても介護が必要になっても、住み慣れた自宅や地域の中で家族や親しい人たちとともに、最期までその人らしい人生を送りたいと望んでいます。
小規模多機能型居宅介護は、そうした在宅での生活を送り続けたいという高齢者や家族の願いに応えます。

〇〇したいの実現

持っている力の活用

生活の継続性

本当は誰もが望んでいる生活

自宅では私が主人公

自分立てたスケジュールに沿って日常生活を営む

「尊厳ある生活」

日常生活における自由な自己決定の権利を認め

自宅

自宅の見さ

介護が必要となったときでも、介護のために自分の生活や自由を犠牲にすることなく、自分らしい生活を送ることができる。

この願いを実現するために

「小規模多機能型居宅介護」

が

平成18年4月に介護保険の地域密着型サービスのひとつとして創設されました。

持っている力の活用

- 買い物に行ける
- 家で野菜づくり
- 若い人に料理を教える
- お客さんにお茶を入れる
- 着たい洋服を選ぶ

〇〇したいの実現

- 友達と将棋をしたい
- 家族と旅行したい
- お刺身が食べたい
- 孫と遊びたい
- 教習所に免許に入りたい

生活の継続性

- 朝はゆっくり起きて、お茶でも飲んでから…
- 行きつけの美容院に髪を切りに行く
- ご近所のお〇さんちへ遊びに行く
- 大好きな盆栽の手入れをする

「安心」

食事や排泄、入浴ができなくなると困る

● 家族：体がぼろぼろ、もう少し楽をしたい

● 本人：家族に迷惑をかけたくない

● トイレ、食事、外出など、できないことの手助け

● けがをしないような見守り

介護の安心

一人ひとりに合った支援をしていくには、お年寄りの本当の思いや望みをくみ取ることが大切だと考えています。一人ひとりに寄り添い、時間をかけて丁寧に支援していきます。介護が必要になっても、安心できる環境の中で、これまで築き上げてきた家族や地域社会との関係を断ち切ることなく暮らし続けることを大切にします。

自宅に24時間・365日の安心を届けます

地域密着

小規模

多機能



小規模多機能型居宅介護は、施設を在宅版のようなサービスです。施設の個室を自宅と見え、廊下は道、施設の職員が居家にお世話するように自宅に訪問したり、日中のつどいの場として食卓へ集まるように事業所に通います。「通い」や「宿泊」「訪問」といったあらゆる機能を使って、自宅での生活を支えていきます。

サービス概要

「通い」を中心に、ご本人の様態や希望に応じて、「宿泊」「訪問」といったサービスを組み合わせ、「自宅」で継続して生活するために必要な支援をしています。

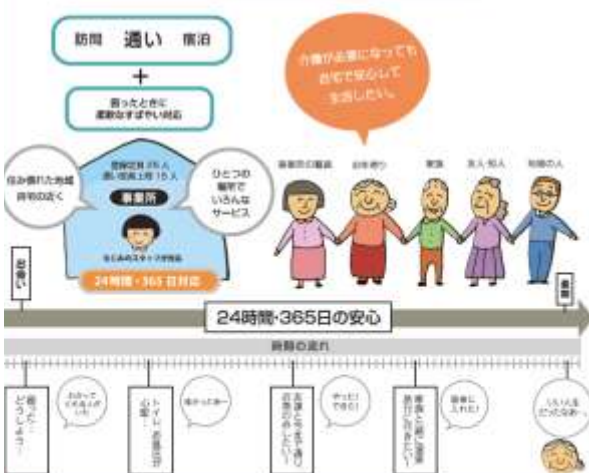
- 「通い」で馴染みになった職員が「宿泊」や「訪問」の際にも対応します。
- 環境の変化に敏感なお年寄り（特に、認知症の方）の不安を和らげることができます。

だから

- ご家族も安心してご利用いただけます。
- ご本人やご家族の積極的な変化に気づくことができます。
- 状況を把握している職員が対応するので、いざというとき心強い味方です。



その人らしい「生き方」「暮らし方」の実現



「暮らし」を支えるということは、24時間・365日、切れ目のない支援を「安心」とともに届けるということです。その人らしい「暮らし」を実現するためには、お年寄りのことをよく知っている家族や近所さん、友人の方々と共に、地域の中で、継続的な支援を考えていきます。

介護の「困った!」にお応えします

いろいろな困ったに対して小規模多機能型居宅介護では、「通い」「宿泊」「訪問」を使って柔軟に支えます。

小規模多機能型居宅介護における「通い」「宿泊」「訪問」

小規模多機能型居宅介護では、「通い」「宿泊」「訪問」といった各サービスの内容は厳格に定められてはいません。一人ひとりの暮らしが異なるように、支援の内容も異なります。



一人ひとりの思いやこれまでの生活スタイルに合わせた支援や時間の過ごし方。

- 日常生活支援（清掃、洗濯、食事の準備）
- 仲間づくりの場として
- いろいろな人と交わる場として
- 生きがいづくりの場として

通いが基本



家族や本人の変化に気づき、その場で対応



自宅での過ごし方と差がないように。
「通い」を利用している方が、これからも家で生活することを重視におき、なるべく自宅での過ごし方と差がないように支援していきます。その時の様態に合わせて緊急時にも対応します。
たとえば、家族が帰国になったとき、すぐに利用できます。

回数も支援する内容もひとそれぞれ...
「通い」だけでなく、食事の準備や洗濯などさまざまな支援を、そのお住まいとして、その人の「暮らしのり」に合わせて支援していきます。
たとえば、認知症（認知症ケア）の対応が可能です。認知症ケアの対応が可能です。

- 「通い」**
一人ひとりに合わせて訪問も頻りに、オーダーメイドのサービスを提供。必要なこと、必要な頻りに対応できる。緊急時にも柔軟に対応。
- 「宿泊」**
「通い」を利用している方をサポートして、安心して生活できるように。必要なときに必要なサービスを提供。緊急時にも柔軟に対応。
- 「訪問」**
一人ひとりに合わせて訪問も頻りに、オーダーメイドのサービスを提供。必要なこと、必要な頻りに対応できる。緊急時にも柔軟に対応。

地域みんなで考えます

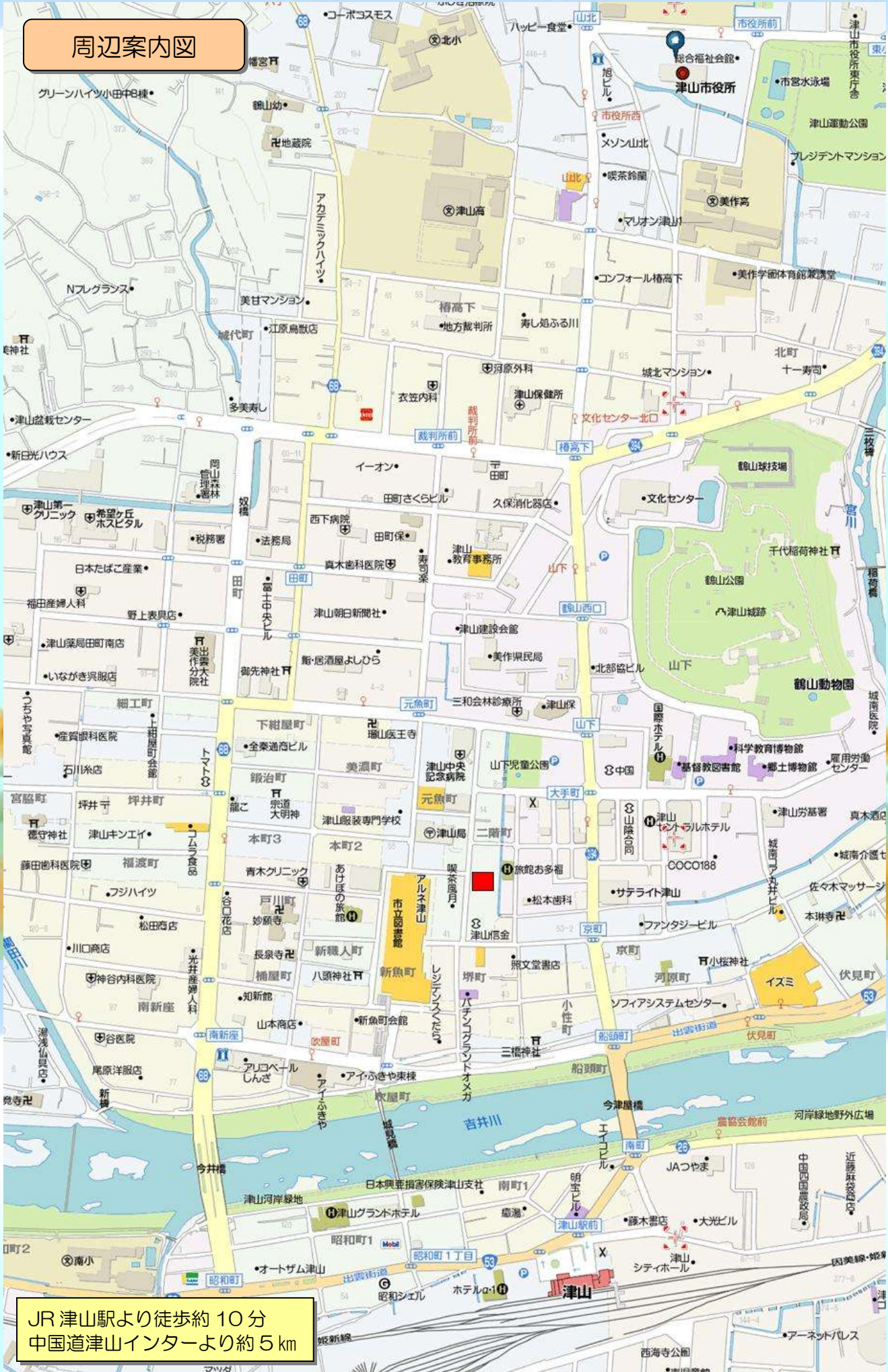
地域での暮らしは、地域みんなさんの支え合いなしには成り立ちません。地域のいろんな人やさまざまな機関が手を結び、支えていきましょう。
 地域みんなさんと小規模多機能型居宅介護のつなぎ役として「運営推進会議」があります。地域の人たちが集い、情報の交換や共有することによって、自分たちが望む「暮らしやすい地域」をともに考えていきます。



これからの地域は、一人ひとりが主人公です。みんなで助け合い支えあっていきましょう。

メモ

周辺案内図





一般財団法人 津山慈風会
岡山県 津山市 川崎 1756
0868 - 21 - 8111

ナイスデイ 二階町
岡山県 津山市 二階町 23-3
0868 - 35 - 2001

*見学および利用の体験は随時行っています。